

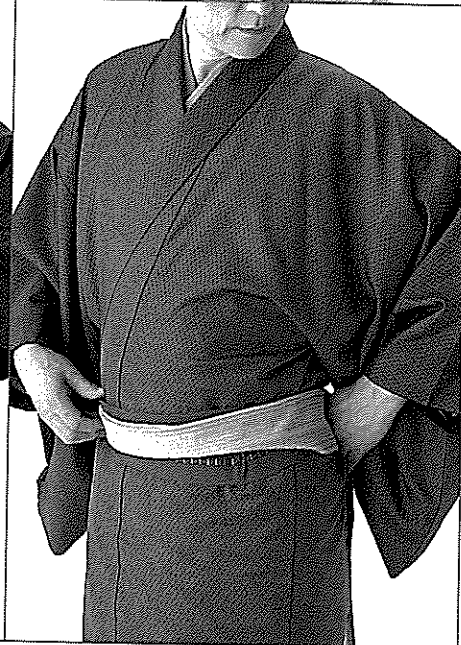
# ③ 角帯で片ばさみ

江戸時代の武士の帯結びです。着流しに刀を差すことで、より帯が締まり、ほごけにくくなります。現代は旅行や車を運転するときなどに最適です。

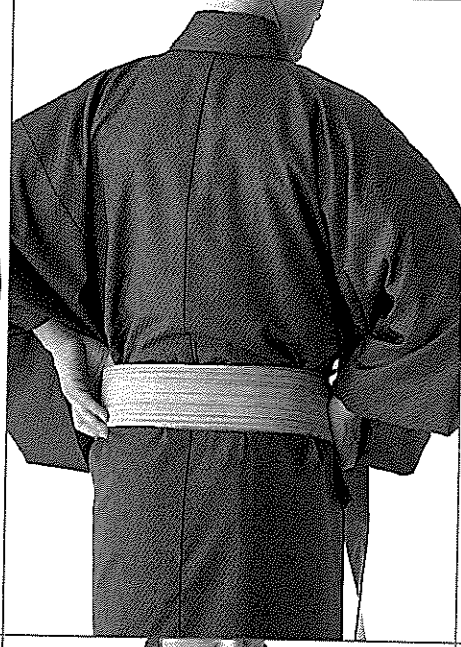
1 帯幅を半分折り、自分の胸の幅にて先の長さをとります。



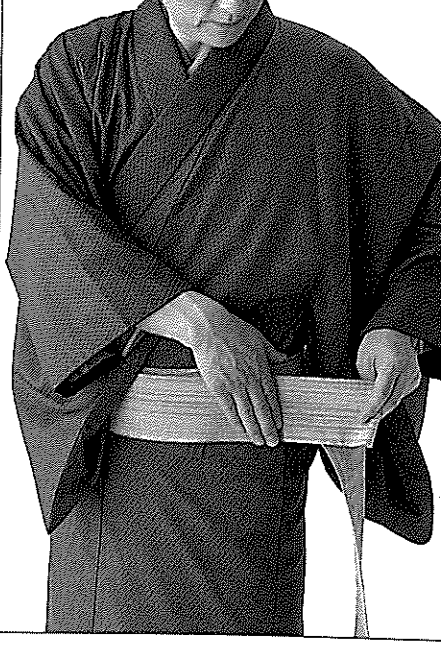
2 左脇で帯幅を全開にします。



3 そのままたれをきちんと重ねながら、胸に三巻きします。



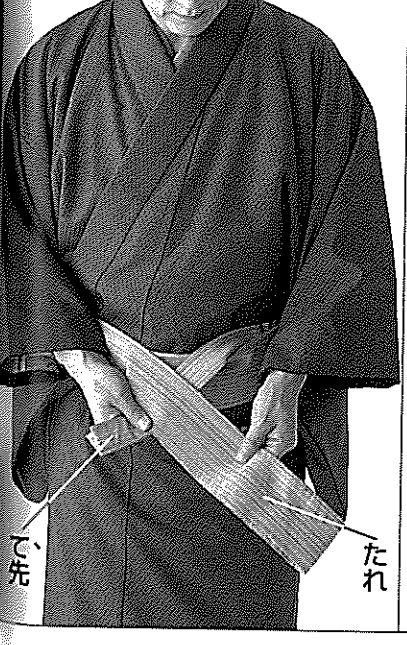
4 たれの長さを、左脇縫いより10センチ長いところに決めます。



5 たれを内側にきれいに折り返します。



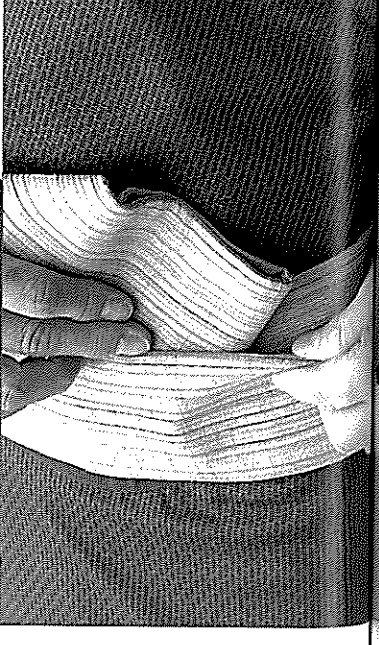
6 て先を下、たれを上に変差させます。



7 たれを上結びます。



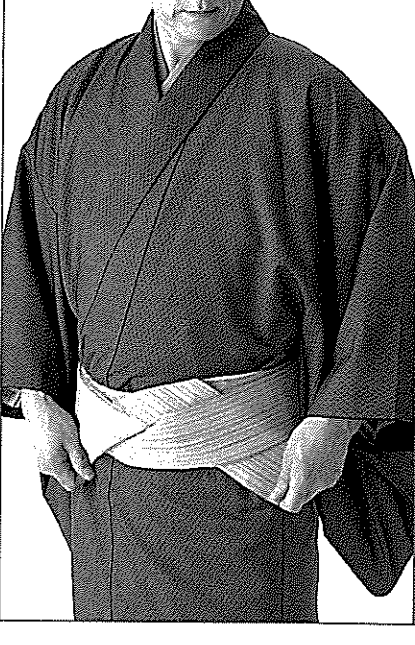
8 たれを胸に巻いた帯の二巻き目と三巻き目の間に入れます。  
※一巻き目と二巻き目の間でもかまいません。



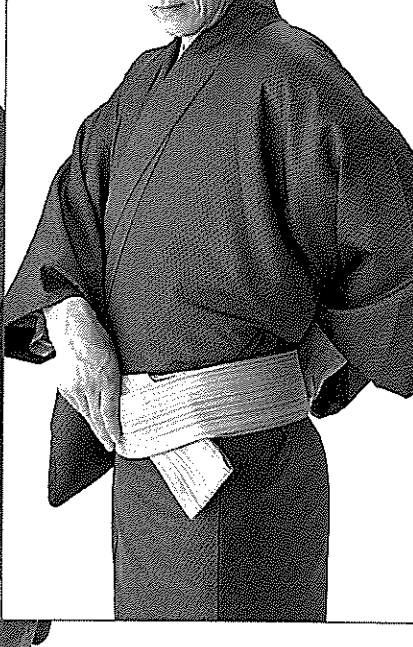
9 たれを下から引き出します。



10 て先とたれをそれぞれ引き締めます。



11 右手で結び目、左手で後ろの帯を持って、右回りに後ろへ回します。



12 帯のまわりのしわを左右に伸ばし、最後に前帯を押しよ下に下に落とします。股割りをして、でき上がりです。  
※股割りの仕方は四八ページ参照。

